

平成 16 年度イタリアンライグラス優良品種選定試験

竹中 勲・榎堀 善文

要 約

イタリアンライグラス 11 品種の特性を比較した。気温は、冬期は平年並み、春期は平年より高かった。降水量は、冬季は平年より少なく、春季はやや多かった。日照時間は冬季・春季を通して平年より長かった。

極早生群 出穂始期は「さちあおば」が、やや早かった。倒伏にはどの品種も強く、乾物収量は「メリット」が最も多かった。

早生群 出穂始期は、ほぼ同様であった。倒伏は「はるかぜ」の 2 番草で顕著であった。乾物収量は「ワセアオバ」が多かった。

中・晩生群 出穂始期は、ばらつきが見られた。倒伏は 2 番草でやや見られた。乾物収量は「ナガハヒカリ」が多かった。

緒 言

本県に適するイタリアンライグラス優良品種の選定を行う。

試験方法

1. 試験期間

昭和 57 年より継続、
比較品種は原則として 3 年間。

2. 圃場

奈良県畜産技術センター
大宇陀場内
(標高 349m、年平均気温 12.9℃)

3. 供試品種

表 1 のとおり
本県奨励品種 7 品種、
対照品種 4 品種

表 1. 供試品種 (*は試験実施時の奈良県奨励品種)

	早晩性	品種名	倍数性	供試年次			
				H14	H15	H16	
1. 試験期間		ミナミアオバ*	2 倍体	○	○	○	
		ウヅキアオバ*	2 倍体	○	○	○	
	2. 圃場	極早生	ハナミワセ	2 倍体	○	○	
			メリット	2 倍体		○	○
3. 供試品種		さちあおば	2 倍体		○	○	
		ワセアオバ*	2 倍体	○	○	○	
	表 1 のとおり		タチマサリ*	2 倍体	○	○	○
		早生	ニオウダチ*	2 倍体	○		
			タチムシャ	2 倍体	○	○	
			はるかぜ	2 倍体	○	○	○
	中・晩生		ナガハヒカリ*	4 倍体	○	○	○
			ジャイアント*	4 倍体	○	○	○
			アキアオバ*	4 倍体	○	○	○
			ムサシ	4 倍体	○	○	
		ヒタチヒカリ	4 倍体	○	○		
		ジャンボ	4 倍体		○	○	

表 2-1 生育調査 (1 番草 出穂～刈取)

早晚性	品種名	出穂始期	刈取日	刈取時 出穂程度	刈取時 草丈	刈取時 倒伏程度	再生程度
		月/日	月/日	1～5 無～極多	cm	1～5 無～甚	1～5 良～不良
極早生	ミナミアオバ	4/5	4/13	4	65	1	
	ウツキアオバ	4/5	4/13	3	77	1	
	メリット	4/6	4/13	3	74	1	
	さちあおば	3/29	4/6	3	64	1	
早生	ワセアオバ	4/15	4/22	3	104	1	2
	タチマサリ	4/15	4/22	3	89	1	1
	はるかぜ	4/15	4/22	2	81	1	1
中・晩生	ナガハヒカリ	4/26	4/30	2	108	1	2
	ジャイアント	4/20	4/26	3	96	1	2
	アキアオバ	4/26	4/30	1	100	2	1
	ジャンボ	4/19	4/26	2	88	1	2

表 2-2 生育調査 (2 番草 出穂～刈取)

早晚性	品種名	出穂始期	刈取日	刈取時 出穂程度	刈取時 草丈	刈取時 倒伏程度
		月/日	月/日	1～5 無～極多	cm	1～5 無～甚
早生	ワセアオバ	5/11	5/24	5	104	2
	タチマサリ	5/12	5/24	5	103	1
	はるかぜ	5/13	5/24	4	93	4
中・晩生	ナガハヒカリ	5/24	5/31	4	111	1
	ジャイアント	5/14	5/24	4	90	1
	アキアオバ	5/24	5/31	4	106	2
	ジャンボ	5/15	5/24	3	94	2

4、平成14年度～平成16年度試験結果

早生品種「はるかぜ」について

試験期間の3年が経過したため奨励品種「ワセアオバ」と試験品種「はるかぜ」の比較を行った。

主要成績は、表5のとおり。出穂始期は、1～2日早く、倒伏は奨励品種に比べやや弱い。収量は1番草ではやや劣るが、2番草ではやや勝り、総収量ではやや劣る結果となった。一般的にタチマサリに比べ特筆すべき点はなかった。

表5 ワセアオバとはるかぜの比較

品種	年度	出穂始 月日	1番草		出穂始 月日	2番草		総乾物 収量 kg/a
			倒伏 1無～5甚	乾物収量 kg/a		倒伏 1無～5甚	乾物収量 kg/a	
ワセアオバ (奨励品種)	H14	4/20	3	63.5	5/19	1	48.7	112.0
	H15	4/19	2	39.6	5/13	1	36.9	76.5
	H16	4/15	1	82.8	5/11	2	52.8	135.6
	平均	4/18	2	62.0	5/14	1.3	46.1	108.0
はるかぜ	H14	4/18	4	57.9	5/19	1	61.8	119.7
	H15	4/18	3	29.2	5/12	1	29.7	58.9
	H16	4/15	1	60.1	5/13	4	46.4	106.5
	平均	4/17	2.7	49.1	5/14	2.0	46.0	95.0

参考文献

- 近畿中国地域試験研究打合せ会議草地飼料作部会：近畿・中国地域 牧草・飼料作物品種・系統選抜試験実施に関する申し合わせ;2～5(1982)
- 農林水産技術会議事務局ほか：牧草系統適応性検定試験実施要領(改訂2版);5～7(1990)
- 竹中ら：奈良県畜産技術センター研究報告第29号;12～16(2002)
- 竹中ら：奈良県畜産技術センター研究報告第30号;13～25(2003)